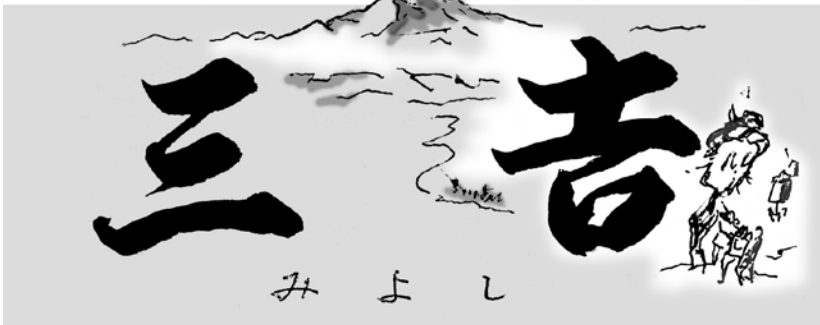




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田 村 泰 教

秋田市広面字赤沼3の2

電 話 (018) 834-3443

F A X (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

太平山荷物空輸作業 (6月2日)

宮司 田村 泰教

今さらの感もあるが、私たちの身の回りにはカタカナ語が溢れている。テレビ・トイレ・ニュース・スマホといった生活に身近なものから、難解なものや目新しい語句まで多岐にわたる。▽横文字に対する無意識の内での劣等感や憧れが、ひらがなや漢字に比べて格好が良い・洗練されているといった印象に繋がり、多用されているのだろうか。▽私たち神職は祝詞を作る時、出来るだけカタカナ語を使わない。例えば「お店をオープンする」とは言わず「お店を始める・起こす」といった具合だが、固有名詞そのものがカタカナの場合や、日本語に訳すと逆に分かりにくくなるものもあり(例)パソコン↓個人用電子演算機?、神様と人との仲取持ちとしてどう表現すべきか困惑することもある。▽ただカタカナ語そのものが一概に日本語を乱すとは言い切れない。そもそもわが国では、古くは漢字や漢語、また西洋の言語を上手く取り入れ、果ては和製英語まで生み出して巧みに日本化してきた。その営みは、日本人特有の豊かな言語感覚の裏返しでもある。▽場面や対象者に応じて柔軟に、そしてわかり易く的確な言葉を使い分けていく。言葉の大切さを肝に命じたいと思う。

特別掲載

三吉様への母の祈り

日本アビリティーズ協会 会長 伊 東 弘 泰



母が三吉様の信仰に
はいつたの
は、昭和18
年と聞いて
いました。

来、母は三吉様第一の生活を亡
くなるまで続けました。

父が満州に召集され、母は私を
抱えて留守を守ることになりました。
その直後でしようか、私
が1歳のときに、流行していた
小児麻痺に感染し、不自由な身
になりました。母は当然、途方
にくれ、しかし、母の姉が嫁い
だ寺尾家が三吉さまを信仰して
いた事から、母も、三吉さまに
おすがりするようになったこと
を何度も聞きました。（寺尾の
叔父は三吉さまへの信仰厚く、
生前、大太鼓をご寄贈できたこ
とを誇りとしてよく話しており
ました。）

母に寄れば、当時東京の大森
で三吉さまの分家のような社殿
があり、その宮司様（お名前を

母は三吉様第一の生活を亡
くるまで続けました。
現に父は昭和23年に栄養失調
で、シベリヤから送還されまし
た。また私も、いまなお、不自
由な身体状況ではあります。装
具を使い、自力でなんとか歩
けるようになりました。
母は何度か太平山のお山にも
登らせていただき、からだが大
変になる前まで参っておりまし
た。
しかし医療事故で16年前に亡
くなりました。その後は、平成
7年5月7日に両親と共に赤沼
に参詣したときに求めたさ
さやかなお宮をお守りし、私が
微力ながら、母の代わりに朝夕
おまいりしております。

私が始めたアビリティーズ
の組織もまた、三吉さまに救わ
れてきました。昭和41年に大学
卒業と共に、私含めて障害者6
人で創業し、51年半を経過した
今、約1千人の社員となり、ま
た多くの身体、知的、精神障害
者が共に働いています。私は、
就職試験で百社以上の会社か
ら試験を受けることも断られ
たので起業しました。いつもい
ろんな困難に遭遇してきまし
たし、今もなお同じですが、毎
朝お水をお供え、1日の無事をお
願いすること、今もなお、元
気でやれています。76歳になり
ますが、土日もなく、早朝から
夜遅くまで、なんとかやれてい
るのは、ひとえに、母の60年に
わたる三吉さまへの祈りのお
蔭だと思います。
いろいろな不思議なことも体
験しました。社員が交通事故に
あい、車は横転、大破し修理不
能なほどの損傷であったのに、
傷ひとつ負わないで済んだ事故
が2回ありました。そして二度
とも、ダッシュボックスに入っ
ていた、三吉さまの交通安全の
木のお札が、真つ二つに割れて
いました。ボックスに入ってい
たのですから、割れるような力
がかかるわけがないのです。
それ以外にも、会社がもうだ
めになるかもしれないという
きにも不思議に救われるよう
なことが、何度かありました。
私は、障害者ということ、
就職試験も断られましたので、
昭和46年に私が29歳のときに、
原健三郎労働大臣にお会いさ
せていただき、障害者の雇用に
関する法律策定をお願いした
ところ、大臣指示を出してくだ
さいました。その後検討が進み、
4年後の昭和50年にその法律が
国会で成立しました。それが今
機能している、障害者雇用促進
法です。
また平成13年から、障害者差
別を禁止する法律制定運動を開
始し、2013年に国会で成立、
昨年、平成28年4月より施行さ
れました。
出来そうにないことであつて
も、祈り、求め、また祈ること
で、実現していく。これも三吉
さまのお力のお蔭です。

昨年十二月に頂戴いたし
ましたお手紙より伊東様の
了承を経て掲載させて頂き
ました。

地元シリーズ ⑤7

山登り六十年 初めの登山は霊峰太平山から

秋田市 堀井 弘



私は太平山（二一七〇・六m）には何かと縁があるようです。当時

在学していた高校は秋田市保戸野金砂町にあります秋田工業高校でした。毎日の通学途中に右手遠方に太平山を見て三年間の通学をしました。

その美しさと雄姿（雄姿とは雄々しく堂々の意味）が気に入った。当時取り組んでいた体操競技にも一層力が入っていったようです。同期には一九六四年東京オリンピック体操競技個人総合優勝しました（故）遠藤幸雄氏もおり彼も又太平山をみての通学でした。

学校の校歌にも「太平山の凜たる雄姿」とあり明治三十七年学校創立時に（故）相馬御風先生が作詞されたとの事です。私の山登りのはじまりは会社勤めを



した時に山好きの上司から太平山登山へ誘われ同行、通学途中に毎日のように眺めていたあこがれの山々の登山でありました。野田コースからの登頂、最初はキツカッタ！太平山は「おいだら山」と呼ばれ秋田市の東部に位置し山体は隆起の山地で各河川源流の浸食が激しく、多くの滝や峡谷があり標高は低いがブナ帯や高山植物の植生が見るべきものも多い。



現在、近くには太平山リゾート公園、仁別国民の森等もあり秋田市を中心としたシンボルとして多くの人に愛されており、太平山に初めて登った六十年前職場の上司に山が好きだったなら市内にある山岳会に入会して活動したら良い知識も得られるとの事で入会する。先輩達から太平登山で体力をつけておく

と県内、国内の山はどこでも登れると云われ、まさにその通りでありました。この様な関係から現在も体調良く太平山協力会にも入会しており活動を続けて

おります。最近では年相応に太平山登山をメインに県内の登山をしておりませんが最近少しずつ登山に人気が出て来ており初心者が増加しているようです。

ここで何か山に奉仕出来る事がないかを考えてみた。

道しるべが頭に浮かぶ。道しるべは県外の山には多い。

山を愛する多くの仲間達がより安全に楽しく事故のない登山が出来るように太平山登山道に「六十八ヶ所」の手づくりの道しるべを七年がかりで取付を完成しました。

「道しるべ」と「指導標」は同じようですが大字典による意義をみると「考え導くめじるし」となっております。

取付コース

※金山登山口―前岳―中岳、二手の又、マンタラメ、妙見山
：三十五ヶ所

※野田口：二ヶ所

※岩見三内丸舞口：五ヶ所

※旭又一山頂―宝蔵岳―矢源入口：二十六ヶ所

合計六十八ヶ所

まだ登れます。

言挙げ ⑥5

過去の記録

権欄宜 原 田 憲 幸



神社仏閣の
造営・修復、
または一般住
宅の新築に於
いても棟上げの際にその記録と
して棟札が残されています。棟
上げの建築儀礼は奈良時代から
文献には見られますが、棟札自
体は中尊寺に現存する保安三年
(1122年)のものが最古の
例とされ、時代によって変遷は
ありますが元々は後世への記念
として作られたと言われており
ますので、その記述の内容も簡
単なものが多かったのが、次第
に一定の形式が整えられ、梵字
や九字が記された宗教的色彩を
帯びたものも見られる様になっ
てきます。

当社の棟札の中で、記録にあ
る中で最も古いのが貞享三年

事です。
この棟札の表側には「太平山
仙人三吉権現」の名が見え、そ
の後の明治までの時代では「三
吉権現」、「神仙三吉権現」など
の名称が複数例見られるのに対
してこの棟札での名は現存する
ものの中では一例しか無い為、
名称の変遷を考察する上でとて
も貴重なものだと思います。
こうした諸々の記録は各分野
に於いて貴重な資料であるにも



関わらず、なかなか顧みられる
事が少ない様でちょっと残念な
気がします。聞いた話では、古
い家屋や蔵を解体した時に出て
きた古文書等も「どうせ大した
価値は無いだろう」と処分して
しまう人もいらっしやるとか。
歴史上重要な事柄に関わらない
例えば村落の資料等であつて
も、そうした分野を専門にして
おられる方々が世の中にいらっ
しやるはずです。処分してしま
う位なら、是非然るべき場所に
寄贈して頂ければ学問を志す
人々の助けとなるはずです。
日本は世界の中でも特徴的な
文化と歴史を有した素晴らし
く、また、面白い国だと思いま
す。形のある文化財は何時かは
朽ちてしまうかもしれない
が、内容を記録したり、様々な
やり方で保存する事で少しでも
長く後世に伝える事が出来たら
大変意義深い事であります。一
人でも多くの人が日本の歴史と
伝統に興味をもって頂ければ嬉
しく思います。

第60回 『太平山に登ろう会』のご案内

太平山頂上奥宮に参拝し、山小屋に1泊いたします。夕陽や星空、ご来光を仰ぐ絶好のチャンスです。

神社関係者が同行案内しますので、初心者の方、おひとりでのご参加でも安心です。是非奮ってご参加下さい。

記

- ・期 日 9月8日(土)～9日(日) (1泊2日)
- ・集 合 午前11時 里宮
- ・参加費 9,500円 (宿泊・交通費・保険料・初穂料・食事代・記念写真代等一切を含みます)
- ・申込み 10日前までに係(原田)までお申込み下さい。(定員20名)
- ・登山路 旭又(仁別)コース往復(時間はあくまでも目安)



「登ろう会」「山ガール」日程

1日目

里宮 集合 安全祈願後出発→旭又園地→御滝神社→御手洗(みたらし・冷たい湧水・ブナ林)
→太平山山頂祈願祭の後夕食直会【山頂山小屋泊】

2日目

(朝拝行事・朝食)→御手洗→御滝神社→旭又園地

第8回 『山ガール登山』のご案内

初心者
大歓迎

今年で第8回目を迎える女性限定の登山会。秋田市のシンボル霊峰太平山に登り、山頂で1泊します。登山未経験の方、初心者の方、1人でのご参加も大歓迎です(山岳ガイド同行)。

毎年恒例の懇親会では、お酒を飲みながら女性同士で大いに盛りあがります。是非この機会にご参加下さい。



【期 日】平成30年 7月21日(土)～22日(日) (1泊2日)

【集 合】午前9時 里宮

【対 象】健康な方(20代～40代の女性限定)で、体力がある方

【参加費】7,000円(宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等含む)

※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。

【申込み】電話・FAX・メール等。7月17日締切り(定員17名)。担当：和田・平賀

1日目

途中御手洗にて昼食・休憩→山頂着15:15頃

2日目

ザ・ブーン着11:45頃(お風呂・昼食後解散)

※ご不明な点(荷物・服装など)に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。

夏越の大祓式のご案内

○日時 六月三十日(土) 午後三時(里宮)

この半年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪穢れや災いを、形代(かたしろ)や切麻(きりぬさ)、また茅の輪で祓い清め、夏の邪気を祓い、残る半年を心身ともに清々しく過ごすことをお祈りいたします。

是非、ご家族皆さまお揃いでご参列くださいませ。

《形代でのお祓いのしかた》

- 一、形代にそれぞれご家族の氏名・生年月日をお書き下さい。
- 二、形代で全身を撫でて祓い清めます。特に病氣やケガなどで具合の悪い所を入念にお祓い下さい。
- 三、次に形代を両手で持ち、思いをこめて大きく三度息を吹きかけて下さい。

●以上のお祓いを行った後、ご家族の分をまとめて当日ご持参下さい。

●形代は神社にご用意しております。必要数をご連絡下さい。

尚、ご都合のつかない方は、事前にご持参又はご郵送下されば神事ご奉仕の上、ご神符をお送り致します。

茅の輪神事

水無月の

六月三十日(土)

なごしの祓する人は

午後三時肅行

千歳の命延ぶといふなり



第33回

太平山写生会

秋田のシンボル太平山をかこう!!

7月7日(土) 午前 9:00

太平山三吉神社境内周辺集合

日 時 平成30年 7 月 7 日(土)
午前 9 時開始 (随時解散)
【荒天の場合は 7 月 8 日(日)に順延】

場 所 太平山三吉神社境内周辺

主 催 太平山写生会実行委員会

後 援 太平山三吉神社総本宮

協賛予定 秋田魁新報社 秋田中央郵便局

東日本電信電話(株)秋田支店 秋田銀行広面支店

北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店

秋田県信用組合東支店 株式会社マルシン

一ノ関時計店 花のヤマト 株式会社ぺんてる

(有)木曾塗装 汎山書道教室 (順不同)

参加対象 幼児、小・中学生、保護者

参加申込 当日集合場所で受付

写生対象 太平山及び神社建物、境内からの風景など

様 式 水彩、クレヨン、パステルなど自由
審 査 市内小・中学校の先生

展示予定 秋田中央郵便局 秋田銀行広面支店
秋田県信用組合東支店

北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店

表 彰 式 8月18日 (土) 午前9時

於：太平山三吉神社齋館

入賞者に賞状と副賞を授与



平成30年 太平山 諸行事のご案内

本年の物資空輸作業を6月2日に完了しました。霊峰「太平山」では、本年も9月末まで奥宮並びに山小屋を開所し、神職関係者が常駐いたします。ご地元や崇敬者の皆さまのご登拝をお待ちいたしております。

- ・奥宮・山小屋開所 6月 2日(土)～9月末日
 - ・太平山山開き(開山祭) 7月17日(火)御神体を山頂へお遷しします
 - ・第8回山ガール登山 7月21日(土)～22日(日)(1泊2日)
 - ・神社主催太平山登ろう会 9月 8日(土)～ 9日(日)(1泊2日)
 - ・閉山祭 9月17日(月・祝)御神体を里宮へ遷御
- ※各種登山会の詳細等は、お気軽に神社にお尋ね下さい



みよしスケッチ



晴天のもと多数のご参列をいただきました。

春季例大祭
五月七日・八日



協力会境内整備作業
五月十九日



山頂準備作業
五月十四日



食と芸能大祭典
五月十六・十七日



札幌三吉神社例祭参列
五月十五日

平成
30年

開

山

祭

恒例により平成三十年開山祭を左記により斎行いたします。本年も多くの方に神人奉仕、また祭典へのご参列賜りますようご案内申し上げます。

日 時 記
七月十七日(火) 午前10時
於 里宮拝殿

この祭儀は古式に則り、里宮での神事後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂の奥宮にお遷し申し上げます。(往路・野田口、後路・旭又口)
○ご参列の方は、七月十日までに係 原田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。
○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。



平成30年 下半期主な神事予定 (山関係は5頁参照)

10月1日(月)	午前10時	印 章 供 養 祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人 形 感 謝 祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事 (人形は9月20日よりお預かりします)
10月16日(火)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	秋の恵みと1年の御加護に感謝する秋の大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(水)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
10月20日(土)	午前8時30分	歩 こ う 会	近隣の社寺・史跡を歩き、健康増進を図ります
11月23日(金)	午前9時	新 嘗 祭	五穀の収穫に感謝する祭事
12月13日(木)	午前10時	煤 払 い 式	清々しく新年を迎えるために、境内建物のすすを払う恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札、お守りをお祓いいたします
12月31日(月)	午後2時	師 走 の 大 祓 式	1年の罪・穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。

※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



煤払い式



師走の大祓